2027 年度事業計画
（2026 年 10 月 1 日～2027 年 9 月 30 日）

Ⅰ.国際ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ派遣

●ﾋﾞﾚｯｼﾞ（11 歳対象）

1. Delegation 派遣　15 ヵ所　75 名：1 ﾁｰﾑ 5 名（こども 60 名　ﾘｰﾀﾞｰ 15 名）

*以下含む

派遣支部	Reference No.	派遣先	期間	備考(性別、違反等)
関東	V-2026-005	ｺｽﾀﾘｶ(ｺｽﾀﾘｶ)	2026/12/20-2027/01/27	
関西	V-2026-028	ﾀｲ(ﾊﾞﾝｺｸ)	2026/12/20-2027/01/23	

2.個人派遣 JC（16～17 歳）7 ヵ所　7 名　（男女 7 名）

●ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞ（12～13 歳対象）

Delegation 派遣 9 ヵ所　45 名：1 ﾁｰﾑ 5 名（こども 36 名　ﾘｰﾀﾞｰ 9 名）

*以下含む

派遣支部	Reference No.	派遣先	期間	備考(性別、違反等)
関東	Y-2026-044	ﾉﾙｳｪｰ(ﾎﾙﾀﾞﾗﾝ)	2026/12/26～2027/01/09	
関東	Y-2026-010	ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ(ﾘｽﾎﾞﾝ)	2026/12/26～2027/01/02	
関西	Y-2026-011	ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ(ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ)	2026/12/27～2027/01/03	
九州	Y-2026-005	ﾄﾞｲﾂ(ﾀﾞﾙﾑｽﾀｯﾄﾞ)	2026/12/28～2027/01/04	

●ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ（14～15 歳対象）

Delegation 派遣 4 ヵ所　20 名：1 ﾁｰﾑ 5 名（こども 16 名　ﾘｰﾀﾞｰ 4 名）

●ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ（16～17 歳対象）　若干名

Ⅱ．国際ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ受入

●ﾋﾞﾚｯｼﾞ（11 歳対象）

第 88 回日本大会の開催

期間	開催支部（場所）	受け入れ人数
2027/07/29～08/26	関西支部（未定）	62 人（10 ﾁｰﾑ予定　JC）

●ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞ（12 歳～13 歳対象）

第 23・24・25 回ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸ日本大会の開催

期間	開催支部（場所）	受け入れ人数
2027/07～08	関東支部（未定）	46 人（8 ﾁｰﾑ予定）
2027/08	東海支部（未定）	46 人（8 ﾁｰﾑ予定）
2027/08	九州支部（未定）	46 人（8 ﾁｰﾑ予定）

●ﾓｻﾞｲｸ（国際承認申請ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ）

期間	開催支部（場所）	名称	受け入れ人数
	関東支部	STEP	
	関東支部	Doll Project	
	東海支部	日本大会とｺﾗﾎﾞ	
	関西支部	ﾋﾞｰﾁｸﾘｰﾝ	
	九州支部	整理収納ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ	

Ⅲ.国際事業

事業名	開催場所	日時	担当部会	備考
TEA			ｼﾞｭﾆｱ部会	
TTT			ｼﾞｭﾆｱ部会	
RTF			国際理事	

APRW	ﾌｨﾘﾋﾟﾝ(ｾﾌﾞ)		国際理事	
APAC	ﾌｨﾘﾋﾟﾝ(ｾﾌﾞ)		国際理事	
Global Forum	未定		国際理事	
IJBC			ｼﾞｭﾆｱ部会	
JASPARC	ﾌｨﾘﾋﾟﾝ(ｾﾌﾞ)		ｼﾞｭﾆｱ部会	

Ⅳ.国内事業

事業名	担当部署	日時	開催地
JAM	運営委員長	2026/11/07～11/08	東海（邦和ｾﾐﾅｰﾌﾟﾗｻﾞ）
ﾄﾚｰﾅｰ研修	STC/LTC 部会		東海（邦和ｾﾐﾅｰﾌﾟﾗｻﾞ）
JBT	JB 部会		東海（邦和ｾﾐﾅｰﾌﾟﾗｻﾞ）
JNW	STC/LTC 部会	2027/3	関東（ｵﾘﾝﾋﾟｯｸｾﾝﾀｰ）
ｳｲﾝﾀｰｽｸｰﾙ	ｼﾞｭﾆｱ部会	2027/3	関東支部担当
ﾕｰｽｾﾐﾅｰ	ｼﾞｭﾆｱ部会	2027/05	関東支部担当
ｻﾏｰｽｸｰﾙ	ｼﾞｭﾆｱ部会	2027/08	関西支部担当
SU 支部合同集合教育	SU 部会	2027/05/29～05/30	関東支部担当
NJBC&W	ｼﾞｭﾆｱ部会	2027/08	未定
SST	STC 部会		各支部
ﾃﾞｨﾚｸﾀｰｽﾞﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ	STC 部会		各支部
ﾐｯﾄﾞｷｬﾝﾌﾟｴﾊﾞﾘｭｴｰｼｮﾝ	STC 部会		各支部
ｱﾌﾀｰｷｬﾝﾌﾟﾚﾌﾚｸｼｮﾝ	STC 部会		各支部

Ⅴ.活動内容

1. 国際理事

CISV 国際と国内の調整

① 各ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの部会長と連絡しながら、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑへの派遣や国際に関係ある事業が円滑に進むよう運営委員長と相談をしながら調整する
② ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ部長会の開催
③ 日本の代表として必要に応じて議決権の行使、質問への回答等を行う。
④ 日本協会事務局と相談しながら、国際事務局への支払いの承認をする
⑤ 必要に応じて国際書類等を翻訳する
⑥ 支部長会に出席し、4 支部長との調整をする
⑦ 理事会に出席する。
⑧ 総会･ｾﾐﾅｰ･研修などで CISV 国際の情報を伝える
⑨ 部会長と必要に応じてﾐｰﾃｨﾝｸﾞを開催する。
⑩ APRW や臨時で開催される RTF に参加者を派遣する

2. ﾋﾞﾚｯｼﾞ

以下国際理事と連携しながら実行する

① ﾋﾞﾚｯｼﾞ活動に関する国際からの情報を支部に連絡し、また派遣国が決定するまでの間、国際との連絡を行う
② 派遣ﾁｰﾑについて支部への分配、調整を行う
③ JC 派遣希望者の選考、調整を行う
④ 問題発生時に支部の相談窓口となり、国際、関係国等に連絡を行う
⑤ 支部関係者との情報交換、研修等を行う
⑥ JAM で部会を開催する
⑦ ﾋﾞﾚｯｼﾞ日本大会の準備/運営をｻﾎﾟｰﾄする

3. ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞ

以下国際理事と連携しながら実行する

①部会を実施し、募集、教育、派遣、開催が円滑に進むよう各支部ﾒﾝﾊﾞｰと連携し、運営を行なう
②2026 年度 YM 冬派遣（関東・関西・東海・九州）に関する調整を行う
③2027 年度 YM 日本大会に関する調整を行なう
④国際からのﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞに関する情報を各支部に連絡する
⑤問題発生時に支部の相談窓口となり、国際、関係国等に連絡を行う

4. ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ

以下国際理事と連携しながら実行する

①ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ活動に関する国際からの情報を関係支部に連絡し、また派遣国が決定するまでの間、国際との連絡を行う
②派遣ﾁｰﾑについて支部への分配、調整を行う
③支部関係者との情報交換、研修等を行う

④問題発生時に支部の相談窓口となり、国際、関係国等に連絡を行う
⑤JAM で部会を開催する
⑥ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ向けに JNW 及び、支部内で研修を行う
⑦4 支部合同の集合教育を行う
日時 :2027 年 5 月 29 日(土)～5 月 30 日(日)予定
目的 ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ派遣前に全参加者向けに JB によるｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨを受ける事が必須であり、
よりﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを理解して参加するため
内容 各支部よりｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ参加者を集め、JB によるｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨを実施及びﾘｰﾀﾞｰと参加者に向けた研修を実施

5. ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ
以下国際理事と連携しながら実行する
①ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ参加者の派遣実務
参加者の募集、応募者間調整・選考・決定、参加までのｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ、研修、帰国後のｱﾝｹｰﾄ実施
②各支部ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ委員会のｻﾎﾟｰﾄ
時期 : 2026 年 10 月 JAM 内容 : ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ部会を開催
対象 : 各支部ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ委員長、副委員長、委員、ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ経験者等
③ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ参加者研修を開催
時期 : 部会としては四支部合同のｵﾝﾗｲﾝで実施し、各支部での対面実施や集合教育・JB ｲﾍﾞﾝﾄへの参加を促進する
対象 : ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ参加者、ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ経験者等
④国際事務局との連絡・調整、派遣

6. ﾓｻﾞｲｸ
1 2026 年 11 月 JAM: ﾓｻﾞｲｸ部会開催
2 通年 : 各支部ﾓｻﾞｲｸﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾌｫﾛｰ
〇関東支部 : 2 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ・・・・・STEP, Doll Project
〇関西支部 : 1 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ・・・・・ ﾋﾞｰﾁｸﾘｰﾝ
〇東海支部: 1 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ・・・・・日本大会とｺﾗﾎﾞ
〇九州支部 : 1 ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ・・・・・整理収納ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ

7. STC
＜事業計画＞
以下教育研修担当理事と連携しながら実行する
目的 : STC educates and inspires actions for more fun and peaceful camps!
ｽﾀｯﾌが充実したｷｬﾝﾌﾟ運営を行うためのﾄﾚｰﾆﾝｸﾞを行う。
活動 : ①JAM（2026 年 11 月）および JNW（2027 年 3 月）にて部会を開催
②ﾄﾚｰﾅｰｽﾞ研修を JAM 時実施（2026 年 11 月）
③JNW（新ﾘｰﾀﾞｰ・ｽﾀｯﾌﾄﾚｰﾆﾝｸﾞを実施（2027 年 3 月）
④各支部にて宿泊ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ（SST）を実施(2027 年 5 月～6 月関東 YM、東海 YM、関西 VL、九州 YM）
⑤ｷｬﾝﾌﾟﾃﾞｨﾚｸﾀｰを対象としたﾄﾚｰﾆﾝｸﾞを実施（2027 年 5 月～7 月）
⑥ 関東 YM、東海 YM、関西 VL、九州 YM の開催中にﾐｯﾄﾞｷｬﾝﾌﾟｴﾊﾞﾘｭｴｰｼｮﾝを実施（2027 年 8 月）
⑦各ｷｬﾝﾌﾟ終了後にｱﾌﾀｰｷｬﾝﾌﾟﾘﾌﾚｸｼｮﾝを実施（2027 年 8 月～9 月）
⑧各支部の STC 委員会のｻﾎﾟｰﾄ : 随時
⑨その他ｷｬﾝﾌﾟのｽﾀｯﾌのｻﾎﾟｰﾄ : 随時
⑩ｽﾀｯﾌをｻﾎﾟｰﾄするﾄﾚｰﾅｰの育成 : 随時
※事業計画および予算は、2027 年夏に関東 YM、東海 YM、関西 VL、九州 YM を開催する前提とする。
開催ｷｬﾝﾌﾟが変更になった場合は、それに合わせて STC 部会の事業計画、予算の調整が必要となる。

8. LTC
＜事業計画＞
以下教育研修担当理事と連携しながら実行する
目的 : LTC educates and inspires actions for more fun and peaceful camps!
参加者が充実したｷｬﾝﾌﾟを送れるように、また、新ﾘｰﾀﾞｰ・JC 自身もｷｬﾝﾌﾟを有意義なものにできるように、派遣時・子どもとの関わり方に関する注意点や、CISV の概念を学び、ｱｸﾄのﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ・ﾊﾝﾄﾞﾘﾝｸﾞなどの実践的なﾄﾚｰﾆﾝｸﾞを行う。
活動 : ①JAM（2026 年 11 月）および JNW（2027 年 3 月）にて部会を開催
②ﾄﾚｰﾅｰｽﾞ研修を JAM 時実施（2026 年 11 月）
③JNW（新ﾘｰﾀﾞｰ・ｽﾀｯﾌﾄﾚｰﾆﾝｸﾞを実施（2027 年 3 月）
④各支部にて宿泊集合教育を実施(2027 年 6 月～7 月）
⑤各ｷｬﾝﾌﾟ終了後に各支部にてｱﾌﾀｰｷｬﾝﾌﾟｴﾊﾞﾘｭｴｰｼｮﾝを実施（2027 年 8 月～9 月）
⑥各支部の LTC 委員会のｻﾎﾟｰﾄ : 随時
⑦その他新ﾘｰﾀﾞｰ・JC のｻﾎﾟｰﾄ : 随時
⑧新ﾘｰﾀﾞｰ・JC をｻﾎﾟｰﾄするﾄﾚｰﾅｰの育成 : 随時

※事業計画および予算は、2027 年夏に 4 支部から各ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑへ派遣をすることを前提とする。
派遣ｷｬﾝﾌﾟが変更になった場合は、それに合わせて LTC 部会の事業計画、予算の調整が必要となる。

＜JNW＞ Japan National Workshop
＜事業計画＞
以下教育研修担当理事と連携しながら実行する
目的 ：2027 年度の新ﾘｰﾀﾞｰ・新ｽﾀｯﾌ・新 JC、新 SC 参加者の導入教育・存続対策のためのﾊﾟｽﾄ交流
内容 ：主に開催時／派遣時・子どもとの関わり方に関する注意点や、CISV の概念を学び、
ｱｸﾄに実践的に触れる時間となる。
※事業計画および予算は、2027 年夏に関東 SU、東海 YM、関西 VL、九州 YM を開催すること、各支部から VL、YM、SU、SC へ派遣すること、JC を派遣することを前提とする。派遣・開催ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑが変更になった場合は、それに合わせて本業計画、予算の調整が必要となる。

9. ｼﾞｭﾆｱ
①各支部当該委員会との連絡調整、JB の継続的な活動の支援
②JAM での新年度の引き継ぎ
期間：2026 年 10 月中旬 ※JAM 開催時 場所：未定 参加人数：18 名
内容：国内 JB 活動運営面における旧部会長および旧各支部ｼﾞｭﾆｱ委員長による新年度ﾒﾝﾊﾞｰへの引き継ぎを行う。また JBT（Junior Branch Training）を開催する。
③Winter School の開催（担当支部：関西） ※四支部行事の担当支部は NJBC で正式決定
期間 ：2027 年 3 月下旬（4 泊 5 日） 場所：未定 参加人数：60 名程度
内容：小中学生を対象としたﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑである。
高校生以上はその運営・企画に携わることによって、ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟﾄﾚｰﾆﾝｸﾞを受けることができる。
特にｽﾀｯﾌを経験することによって成長が期待できる。
④Youth Seminar の開催（担当支部：関東）
期間：2027 年 5 月上旬（2 泊 3 日） 場所：未定 参加人数：30 名程度
内容：ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝを中心に行う高校生以上を対象としたﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑである。
国内 JB の研修および活動のﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝの場を兼ねる。
⑤Summer School の開催（担当支部：関東）
期間：2027 年 8 月上旬（4 泊 5 日） 場所：未定 参加人数：40 名程度
内容：前記 Winter School と同様
⑥NJBC&W（National Junior Branch Conference & Workshop）の開催（担当：ｼﾞｭﾆｱ部会ﾒﾝﾊﾞｰ）
期間：2027 年 8 月下旬（3 泊 4 日） 場所：未定 参加人数：25 名程度
内容：国内 JB の最高決定会議を開催する。
詳細は National Junior Branch Conference 運営ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ第 2 条を参照。
同時に、ｼﾞｭﾆｱの基本的な知識の構築を目的として、全 JB を対象にした研修(Workshop)を行う。
⑦各支部当該委員会を中心とした国内 JB に向けた、JB 活動に関する国際からの情報の報告
⑧Sr.NJR および Jr.NJR の活動支援
⑨各支部当該委員会のｻﾎﾟｰﾄを目的とした、委員やｼﾞｭﾆｱ部会のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｽﾀｯﾌとなる人を対象とした研修等への部会ﾒﾝﾊﾞｰの派遣（支部当該委員会から要請があった場合のみ）
⑩IJBC（International Junior Branch Conference）部会派遣者の選出
⑪JASPARC（Juniors Asia Pacific Regional Conference）部会派遣者の選出
⑫TEA（Teamwork of East Asia）の開催
期間：2027 年 3 月下旬（4 泊 5 日） 場所：未定 参加人数：30 名程度
内容：ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝを中心に行う高校生以上を対象とした国際 JB ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑである。
高校生以上はその運営・企画に携わることによって、ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟﾄﾚｰﾆﾝｸﾞを受けることができる。
⑬TTT（Train The Trainers）部会派遣者の選出
⑭CISV JB JAPAN ｸﾞｯｽﾞの販売
⑮四支部合同 JBT（Junior Branch Training）の開催 （JAM 時 実施予定）
⑯各支部 JBT の補助

10. ﾃﾞｼﾞﾀﾙ
①CISV 日本協会の運営・教育活動に有効利用できるようﾃﾞｼﾞﾀﾙｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬを整備し、持続的運営ができるような体制を作る。（利用規則、利用ガイド、ｻﾎﾟｰﾄ体制の整備）
②ﾃﾞｼﾞﾀﾙｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬとして Google Workspace と Web の協調利用を促進し、運営のﾃﾞｼﾞﾀﾙ化による作業の簡略化、会員ｻｰﾋﾞｽの向上を図る。
③CISV 日本協会内での AI 利用についてのガイドラインを策定する
④Google Workspace の効果的な利用が各支部独自で展開できるよう、ﾕｰｻﾞｰﾛｸﾞｲﾝ時の二段階認証を標準とする
また日本協会各支部と協力して、利用方法を確立する
⑤Google Workspace の記録ﾃﾞｰﾀのﾃﾞｰﾀﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟを見なおし、ﾃﾞｰﾀ損失の可能性を低減する
⑥ﾃﾞｼﾞﾀﾙ技術についての教育を行い、会員の安全な技術利用を推進する。

主な活動計画

- ● ﾃﾞｼﾞﾀﾙ部会会議　6 月
- ●利用規則の再設定、ﾃﾞｼﾞﾀﾙ体制（各支部でのﾕｰｻﾞｰｻﾎﾟｰﾄなど）の再確認　6 月
- ●Google Workspace と Web の協調利用の拡大、Web の利用法の検討　6 月
- ● ﾃﾞｰﾀｾｷｭﾘﾃｨそのほかのﾃﾞｼﾞﾀﾙ技術の基礎知識についてのｾﾐﾅｰ開催　適宜（6～9 月）
- ● CISV 日本協会および各支部の Web ﾍﾟｰｼﾞの内容確認および改訂を広報委員会と協力して実施
- ●ﾃﾞｼﾞﾀﾙｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬとして会員ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘｰの拡充を図り、またﾛｸﾞｲﾝ時の二段階認証を標準とするよう方策を講じる
- ● Google Workspace のﾄﾞﾗｲﾌﾞのﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ HDD の増設

11. 広報ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ

①広報活動に関する情報について

・各支部の活動報告誌、募集活動などにおける掲載記事・提案事項の調整、報告を行う。
・「CISV 日本協会ﾆｭｰｽ」を編集発行し、通常総会後の結果報告送付時に会員宛て送付する。
・必要に応じて ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、ﾎﾟｽﾀｰ等を製作する。

②その他の CISV のﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ活動について

・ 支部の募集活動の支援

③電子ﾒﾃﾞｨｱ活動に関する情報について、支部ｳｪﾌﾞﾏｽﾀｰやﾃﾞｼﾞﾀﾙ部会と調整する

・ 日本協会ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの運営・管理を行う
・ 日本協会ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞと各支部ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの管理統合を研究する
・ 運営委員の協力を得て Facebook の運営・管理を行う
・ CISV 日本協会ｵﾌｨｼｬﾙ Instagram ｱｶｳﾝﾄ等 SNS の運用を行う
・ CISV のﾒｰﾙﾏｶﾞｼﾞﾝを主に会員向けに発行する
・ CISV ﾒｰﾙﾏｶﾞｼﾞﾝの発行編集を行う。今後の継続を目指して、各支部との協力体制を築く。

12. 国内交流

＜事業目的＞

会員の相互交流により、会員をつなぎとめること、新しく CISV に興味をもって参加してくれる人を増やすこと。
寄付やﾎﾞﾗﾝﾃｨｱで手伝ってくれる人を増やすこと。
日本協会創立 70 周年事業を円滑に実施すること。

＜活動内容＞

1. 各日本大会ｵｰﾌﾟﾝﾃﾞｨへの参加を促し、ｵｰﾌﾟﾝﾃﾞｨへの参加のみに留まらず、周辺ｴﾘｱの観光地を巡るなど、参加した会員同士が交流を深めることができる企画の立案および実施。
2. 2027 年の CISV 日本協会の 70 周年記念事業実施に向け、実行委員会にて事業内容の企画・検討。
3. 各参加年代別同窓会実施を働きかけ、70 周年記念事業実施に向けた意識の醸成を図る。

国内交流担当理事　70 周年記念事業（変更案）について

活動目的 ・・・変更箇所

①CISV 日本協会の 70 周年を、CISV 日本協会に関わった全ての人と共に祝うこと。
②CISV 日本協会のこれまでの歴史を振り返り、今後の更なる発展に繋げること。
③会員相互の交流を活発化し、会の活性化に繋げること。

主な活動計画

①70 周年記念式典および懇親会（2027 年 10 月 9 日）開催予定）

ｵﾘﾝﾋﾟｯｸｾﾝﾀｰにて、記念式典を開催した後、同会場にて飲食を伴う懇親会を開催。
ｵﾘﾝﾋﾟｯｸｾﾝﾀｰの予約が不可能だった場合は、如水会館、その他都内のホテル等にて行う。

②記念事業

⑴式典と同一会場にて実施。

60 周年の際に会場で行われた今昔物語と同規模の事業を想定。
60 周年からの 10 年間、ｺﾛﾅ禍を経験した CISV がどう変わり、それにより今後どう進むべきかを参加者が考える きっかけとなる内容とする。

⑵70 周年記念誌の発刊。

60 周年からの 10 年間を振り返る内容に加え、ﾃﾞｼﾞﾀﾙｱｰｶｲﾌﾞ事業と繋がる内容のものを作製

⑶ﾃﾞｼﾞﾀﾙｱｰｶｲﾌﾞ事業

各支部、個人が保有している冊子、写真類をﾃﾞｼﾞﾀﾙ化したうえで一括保管する環境を整備する。
会員が、過去のﾃﾞｰﾀによりｱｸｾｽしやすい環境を整備する。

＜参考＞

70 周年式典および懇親会・記念事業当日収支予算
参加人数は、60 周年式典・懇親会と同程度の 250 人とし、会場を如水会館（見積取得済）を想定した場合。

13. ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ

① 各事業におけるﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの実践
② RAG への対応
③ ″ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ教育の継続　特に Safeguarding ｵﾝﾗｲﾝ研修の支援　″
④ 緊急時対応の再確認
各事業の実行に当たって適宜ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの観点からの助言･勧告等をおこなう
⑤ APRW 派遣

14 .運営委員長
①JAM の計画･運営
JAM 開催　場所：邦和ｾﾐﾅｰﾌﾟﾗｻﾞ（名古屋市港区）
時期：2026/11/07～08
内容：部会開催、ﾄﾚｰﾅｰ研修、JBT 開催の確認、その他の研修等の実施
②各支部活動実施に伴う問題点を検討、調整
③各支部からの承認依頼事項の検討並びに承認
④必要に応じてｵﾝﾗｲﾝﾐｰﾃｨﾝｸﾞ開催

15. 関東支部
① 派遣委員会
・派遣対象者の集合教育の実施
・児童生徒の派遣に係る業務全般
・帰国後にｴﾊﾞﾘｭｴｰｼｮﾝおよび ACE の実施
・国内外で開催されるﾋﾞﾚｯｼﾞ・ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞ・ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟに派遣する児童生徒の募集・選考の実施
・国内外に派遣するｼﾞｭﾆｱｶｳﾝｾﾗｰ（JC）の募集、採用面接、候補者の日本協会への推薦
② LTC 委員会
・ﾋﾞﾚｯｼﾞ・ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞ・ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟに参加するﾘｰﾀﾞｰ･ｽﾀｯﾌ･JC のﾄﾚｰﾆﾝｸﾞの実施
・ﾋﾞﾚｯｼﾞ・ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞ・ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟに参加する youth participant を対象とした派遣前教育(集合教育)、
派遣後教育(ACE)の実施
・ﾋﾞﾚｯｼﾞ・ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞ・ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟのﾘｰﾀﾞｰの募集・選考の実施
・日本大会(関東 SU)のｷｬﾝﾌﾟﾃﾞｨﾚｸﾀｰおよびｽﾀｯﾌの募集･選考の実施（STC と合同実施）
・支部内他委員会が実施する諸事業への協力
・LTC 部会が実施する全支部合同研修への協力
③ ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ委員会
・ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ参加者の募集・選考の実施
・参加決定者への派遣前ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ、および派遣後のｴﾊﾞﾘｭｴｰｼｮﾝ、ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ
・JNW、JAM 等でﾄﾚｰﾆﾝｸﾞやﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞを行い派遣準備をすると同時に、
個人派遣者がより CISV にｺﾐｯﾄしやすい環境を作り出す
・参加者に、翌年度のﾄﾚｰﾆﾝｸﾞを手伝ってもらうことで、将来的なﾄﾚｰﾅｰを育成する
・参加者が、ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ委員会の担い手として、その運営に積極的に携わるよう促す
④ ｼﾞｭﾆｱ委員会
・子どもたち及びリーダースタッフ、保護者の方にに CISV をｱﾋﾟｰﾙするための行事の実施
（初夏ﾊｲｷﾝｸﾞ/秋のﾊｲｷﾝｸﾞ/ｸﾘｽﾏｽ会など）
・ｼﾞｭﾆｱたちの CISV への継続的な参加と互いの交流を促すため、JBT（JB Training)や JB Weekend なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの実施
・JB 会報誌「ﾊﾛｰﾌｧﾝﾀｼﾞｰ」を発行するなどｷｯｽﾞ/ｼﾞｭﾆｱに向けた広報活動の実施
・ｼﾞｭﾆｱ部会のもと、四支部合同行事の実施
⑤ 大会委員会
・日本大会の実施
2027 年夏は YM（15 日間）ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを実施する。予定される主な事業内容は以下の通り
開催日程の確定、施設の選定、ｽﾀｯﾌ、ﾃﾞｨﾚｸﾀｰの採用支援、ｻﾎﾟｰﾄﾎﾞﾗﾃｨｱの募集、
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ説明会の実施、Pre Camp 作成支援、
問い合わせ窓口対応、ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ全般、前泊後泊の手配、国際ｽﾀｯﾌ航空券の手配、地元自治体、
観光協会、医療機関との連携、
VISA 申請用ｲﾝﾋﾞﾃｰｼｮﾝﾚﾀｰ作成、ﾚﾝﾀﾙ品の手配、備品運搬、管理、搬入搬出、大会に係る費用の清算
・大会報告誌の作成
・大会寄付金の依頼状の作成、送付、寄付金額の確認、お礼状、領収書の作成、送付
⑥ 広報委員会
・FROM11 の発行・送付（年 1 回）
⑦ ﾓｻﾞｲｸ委員会
・ﾋﾞﾚｯｼﾞ・ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞ・ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟなどの、国際ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの枠にとらわれない様々な活動を、ﾓ
・2027 年度は、6 月の壮行会または 9 月の帰国報告会、
12 月のｸﾘｽﾏｽ会のどこかで 30 分～1 時間程度の枠を頂き、ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟを実施する。
また 10 月頃に東日本大震災後に開催していた、STEP（ｽﾏｲﾙ東北ｴﾝﾊﾟﾜｰﾒﾝﾄﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ）を宿泊行事

として開催する予定である。
・今後のｲﾍﾞﾝﾄ企画に向けて、準備や下見を行う。

⑧ ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ委員会
- ● 各種国際ﾙｰﾙ更新時の周知対応
- ● ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ、ﾙｰﾙ適用状況の認、適用依頼の発出
- ● 緊急事態が生じた時の対応
- ● 大会委員会・STC 委員会と協力したｷｬﾝﾌﾟｻｲﾄ事前ﾁｪｯｸ
- ● 日本大会ﾐｯﾄﾞｷｬﾝﾌﾟｴﾊﾞﾘｭｴｰｼｮﾝへの参加
- ● STC、LTC、個人派遣者 その他の教育制度に参加し、ﾘｽｸ教育が適正に行われるようにする
- ● RAG 評価に関する回答書作成
- ● 国際で行われるﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研修に適切な人材を派遣し、ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ有資格者を増やす

⑨ 財務委員会
・支部事業費の管理
・その他の費用の管理

⑩ 総務委員会
・情報の伝達 1 >国際及び日本協会他支部からの情報や依頼事項を関東支部内委員会へ連絡
・情報の伝達 2 >緊急時連絡のﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ委員会の補佐
・正副支部長の実務担当 >「公文書作成」
・委員会内の連絡･調整 >関東支部委員会間の連絡及び調整
・名簿作成･発送 >委員会名簿
・2027 年度ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ参加者名簿作成及び管理
会員管理 >関東支部会員の異動状況把握、会費請求
・複数委員会、合同事業、ﾐｰﾃｨﾝｸﾞの調整･準備 >
・事務局管理 >整備･備品管理･PC/ｺﾋﾟｰ機/印刷機管理/事務員管理
・保険契約 >ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ保険
・会場予約 >関東支部主催の各会議及び集合教育等の会場確保 主にｵﾘﾝﾋﾟｯｸｾﾝﾀｰ
・発送 >総会関係書類(年 2 回)

⑪ .会員交流委員会
・会員交流のためのｲﾍﾞﾝﾄ企画･運営を行う
ｸﾘｽﾏｽ会 (12 月) ﾊﾞﾝｹｯﾄあり ｵﾘﾝﾋﾟｯｸｾﾝﾀｰ国際交流等ﾚｾﾌﾟｼｮﾝﾎｰﾙ
夏冬ﾁｰﾑ結団式 (3 月) 詳細未定
夏ﾁｰﾑ壮行会 (6/7 月) ﾊﾞﾝｹｯﾄあり 詳細未定
夏ﾁｰﾑ報告会 (8/9 月) 詳細未定
・ﾘﾕﾆｵﾝ活動の補佐

⑫. STC 委員会
・開催する関東大会のｽﾀｯﾌの募集･選考の実施
・関東ｷｬﾝﾌﾟのｷｬﾝﾌﾟﾃﾞｨﾚｸﾀｰおよびｽﾀｯﾌの募集･選考の実施（LTC と合同実施）
・ｽﾀｯﾌ研修 Super Weekend の実施（2025 年度ｽﾀｯﾌ向け）
・新旧ﾄﾚｰﾅｰのｽｷﾙ向上を目的としたﾄﾚｰﾅｰ研修の実施
・大会委員会との連携
・STC 部会が実施する全支部合同研修への協力

16. 東海支部

① 総務事業

○総務委員会	・支部委員会の開催(毎月)および案内
	・会員情報ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの整備
	・歴代支部長会の開催
	・2027 年度 JAM の準備および開催
	・補助金の申請
○財務委員会	・年会費の徴収、予算案の作成、決算書の作成
○広報･ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ委員会	・印刷広報物発行
	・広報誌の発行(年 3、4 回)
	・年間活動報告誌
	・ﾏｽｺﾐへの募集活動の広報
	・広報ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ部会の基で各支部共通な事業を行う
○ﾃﾞｼﾞﾀﾙ委員会	・東海支部ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの管理
	・ﾃﾞｼﾞﾀﾙ部会の基で各支部共通な事業を行う
○会員交流委員会	・歓送会、活動報告会、ｸﾘｽﾏｽ会、新旧合同懇親会の実施

② 派遣事業

○派遣委員会	・東海支部が派遣するﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ参加者の募集及び選考

・東海支部が派遣するﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾘｰﾀﾞｰの募集及び選考
・旅行社との交渉
・ﾋﾞﾚｯｼﾞ部会の基で各支部共通な事業を行う
・ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ部会の基で各支部共通な事業を行う

〇ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞ委員会　・ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞのﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ並びに参加者の募集、派遣を行う
・ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞ部会の基で、各支部共通な事業を行う

③ 教育事業

〇教育委員会　・ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝの開催
・集合教育の実施

〇ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ委員会　・ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ全般

④ 国内事業

〇ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ委員会　・ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟへ参加者の募集、派遣を行う
・ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ部会の基で、各支部共通な事業を行う

〇ﾓｻﾞｲｸ委員会　・ﾓｻﾞｲｸ事業の実施
・ﾓｻﾞｲｸ部会の基で、各支部共通な事業を行う
・ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ開催

〇LTC 委員会　・ﾘｰﾀﾞｰ、派遣児童生徒の教育一般
・新ﾘｰﾀﾞｰ/JC の研修全般
・JNW、ﾄﾚｰﾅｰ研修への参加
・集合教育(ACE)の実施
・LTC 部会の基で、各支部共通な事業を行う

〇ｼﾞｭﾆｱ会　・25 歳以下のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ経験者を対象とした、交流のﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの実施
・機関誌の発刊
・ｼﾞｭﾆｱ部会の基で、各支部に共通な事業を行う

⑤ 支部事業

〇日本大会委員会　・YM の開催　場所：さもと館(予定)　期間：2027 年 8 月(予定)

〇STC 委員会　・ｽﾀｯﾌﾄﾚｰﾆﾝｸﾞおよびｻﾎﾟｰﾄ

17. 関西支部

支部活動を次の 3 領域、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ派遣、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ開催、支部基盤に分けて運営する。また、それぞれに担当の副支部長を就け、副支部長は関連する委員会と協力して活動を推進する。

① ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ派遣

- 2027 年度に派遣を予定されているﾋﾞﾚｯｼﾞ、ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ、JC、ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ、ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞの参加者を募集、選考の上、集合教育、派遣手続き、渡航・帰国報告、帰国後教育までを行う
- ﾋﾞﾚｯｼﾞ/JC については募集と教育を担当する委員会を分ける
  - ﾋﾞﾚｯｼﾞ・JC 募集担当委員会はﾋﾞﾚｯｼﾞ及び JC 派遣者に関する事項の募集をする
  - ﾋﾞﾚｯｼﾞ・JC 教育担当委員会はﾋﾞﾚｯｼﾞ及び JC 派遣者、保護者の教育をする
- ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞ委員会、ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ委員会、ｾﾐﾅｰｷｬﾝﾌﾟ委員会はそれぞれのﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの参加者の募集及び選考後の教育を行う
- 集合教育委員会は集合教育の主催(施設予約・使用料立替・参加者確認・報告・旅行業者との交渉、当日運営)を行う
- LTC(指導者養成)委員会は、STC(ｽﾀｯﾌ養成)委員会と連携してﾘｰﾀﾞｰ、ｽﾀｯﾌの募集及び選考を行う、また、各員会と連携し派遣に必要な教育を行い、随時保護者への情報提供も行う、特に新年度のﾘｰﾀﾞｰ教育に注力する
- JB 委員会は新派遣者及びﾊﾟｽﾄｷｬﾝﾊﾟｰのｼﾞｭﾆｱを対象として集合教育などでｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨを行う
  春・秋のﾊｲｷﾝｸﾞ等の企画進行を行う 「ｼﾞｭﾆｱ会ﾆｭｰｽ」誌の発行(年 6,7 回)を行う

② ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ開催

- 日本大会委員会
  2027 年 7 月～8 月に日本大会ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(VL)を実施する
  開催場所：未定　日時：7 月 29 日(日)～ 8 月 26 日(日)を想定
- STC(ｽﾀｯﾌ養成)委員会
  ｽﾀｯﾌを募集、選考する、選考後はﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの準備に関してｽﾀｯﾌの教育を行う
- ﾓｻﾞｲｸ委員会
  ﾓｻﾞｲｸﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄを地域団体と連携して実施する

③ 支部基盤

- 総務委員会
  - 支部会員・準会員の把握を行う

- 支部委員会の招集と議事録の作成、庶務事項業務を行う
- 事務局・事務員の支援と管理を行う
- 総会・JAM の手伝い、支部の全発送などを行う
- ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動保険への加入手続きを行う

◦ 財務委員会
- 会員会費の徴収、寄付活動の管理を行う
- 支部活動費・管理費等の予算執行管理と各委員会支援業務を行う
- ﾊﾟｿｺﾝ会計を確立し、会計業務の簡素化を計る

◦ 広報委員会
- ｱﾆｭｱﾙﾚ ﾎﾟｰﾄの編集・発行を行なう
- 支部ﾆｭｰｽ「Here we are」誌の発行(季刊・号外)を行う

◦ ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ委員会
- 緊急事態が生じた時の対応(緊急連絡先の把握・連絡先への周知)
- ﾘｰﾀﾞｰ・ｽﾀｯﾌへのﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの教育を行う
- 国際及び日本 CISV 協会でのﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄに関する取り決め事項を、関係者が理解して遵守するように働きかけると共に 情報の提供を行う

◦ ﾃﾞｼﾞﾀﾙ委員会
- ﾃﾞｼﾞﾀﾙ部会に対応し、協会や支部のﾃﾞｼﾞﾀﾙ化を推進する。

18. 九州支部

① 支部委員会
・月に一度の支部運営委員会(ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ)の開催　・支部運営に関する全般的な把握　・ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの把握

② 派遣委員会 (VL)
・国内外で夏開催されるﾋﾞﾚｯｼﾞﾁｰﾑ派遣実施に向けての募集活動
・ﾋﾞﾚｯｼﾞ参加者(児童(11 歳) ・JC(16-17 歳) ・ﾘｰﾀﾞｰ(20 歳以上)の選考、派遣までの集合教育を行う
・帰国報告会の実施　・派遣後のｴﾊﾞﾘｭｴｰｼｮﾝ

③ LTC 委員会
・新ﾘｰﾀﾞｰへの研修全般 ・ﾘｰﾀﾞｰ選考のｻﾎﾟｰﾄ ・ﾄﾚｰﾅｰの育成 ・ﾓｻﾞｲｸ委員会、JB との協力
・JB のｻﾎﾟｰﾄ ・ﾘｰﾀﾞｰ間の親睦を深め、継続的な活動が出来るようなﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを計画・実施
・JNW,JAM,ﾄﾚｰﾅｰ研修への参加

④ ｼﾞｭﾆｱ会 (JB 11-25 歳)
・会員外のこどもたち(11 歳以下)にｱﾋﾟｰﾙ、ﾊﾟｽﾄｷｬﾝﾊﾟｰとともにｱｸﾄ・ﾃﾞｲを実施
・機関紙「ﾌｧｰｽﾄｽﾃｯﾌﾟ」の発行 年 4、5 回予定
・継続的に参加できるﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑを計画・実行(未来の JC・SC 参加者、ﾘｰﾀﾞｰ、ｽﾀｯﾌを育てる)

⑤ ﾓｻﾞｲｸ委員会(MO)
・ﾓｻﾞｲｸ活動を実現するための支部活動(その一環として準備、地域団体との連携した活動を模索等)を計画し実施する。

⑥ ﾕｰｽﾐｰﾃｨﾝｸﾞ委員会(YM)
・ﾁｰﾑ派遣実施に向けての募集活動
・ﾘｰﾀﾞｰ、参加者(12-13 歳)の選考、集合教育(ﾐﾆｷｬﾝﾌﾟも含む)を行う
・派遣後のｴﾊﾞﾘｭｴｰｼｮﾝ

⑦ ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ委員会(SU)
・ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ参加者募集、教育、派遣のｻﾎﾟｰﾄ(派遣があった場合)

⑧ 広報・ﾃﾞｼﾞﾀﾙ
・CISV の認知度を高めるための活動(ﾒﾃﾞｨｱ、地域とのつながりを深める)
・活動報告誌の発行　・HP の更新と HP を活用した広報　・会員交流を推進
・my CISV の使い方および新規ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ作成補助

⑨ 財務委員会
・支部事業費・活動費の管理、運営　・その他費用の管理　・会費、寄付金の徴収

⑩ 総務委員会
・支部委員会の議事録の記録、作成　・支部委員会のｻﾎﾟｰﾄ　・各行事の会場手配　・ｸﾞｯｽﾞの管理
・事務局の管理　・備品の管理

⑪ 会員交流委員会
・会員交流のための親睦会を企画実施

⑫ STC 委員会
・次期ｽﾀｯﾌのﾘｸﾙｰﾃｨﾝｸﾞ　・大会後に研修ﾏﾆｭｱﾙの作成　・JNW,JAM,ﾄﾚｰﾅｰ研修への参加　・部会ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞへの参加

⑬. ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ委員会
・緊急事態が生じた時の対応や緊急連絡先の把握、周知
・ﾘｰﾀﾞｰ、ｽﾀｯﾌへのﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの教育
・国際、日本協会のﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの情報の把握と支部への通達、指導

⑭. 大会委員会
・ YM 日本大会開催準備、実施